

## リリースノート: Dominion® KX III ソフトウェア (バージョン 3.2)

日付: 2015年 11 月 16 日

### 該当モデル:

Dominion KX III モデル:

DKX3-108、DKX3-116、DKX3-132、DKX3-216、DKX3-232、DKX3-416、DKX3-432、DKX3-464

DKX3-808、DKX3-832、DKX3-864

### Dominion KX III の概要:

KX III は、KX II の次世代バージョンです。処理能力とストレージが増強された最新のハードウェア設計を特徴とする KX III では、IT 管理向けの KVM-over-IP アクセス、およびストリーミングビデオなどのダイナミックなアプリケーション向けの高パフォーマンスの IP アクセスが実現されます。

### ファームウェアの概要 (リリース 3.2):

リリース 3.2 は、リリース 3.1.2 をベースとする主要なリリースで、まもなく発売の KX III ユーザーステーションのサポート、DKX3-808 での高速のスイッチング、パフォーマンスの強化、Java非依存のKVM Client と最新ブラウザのサポート、セキュリティアップデートなど、幅広く強化されています。

### Dominion KX III リリース 3.2 の特徴:

- ・ **KX III ユーザーステーションをサポート。** KX III と、まもなく発売される KX III ユーザーステーションを併せてご利用になる場合は、リリース 3.2 が必須となります。
- ・ **DKX3-808 での高速スイッチング。** リリース 3.2 の DKX3-808 モデルでは、超高速の接続と接続先サーバー間でのスイッチングをサポートしています。
- ・ **独立した LAN ポート。** KX III には 2 つの LAN ポートが用意されており、フェイルオーバー用に構成することも、または、異なる 2つのネットワークに同時接続して別の IP アドレスで別個の操作をするための構成をすることも可能です。
- ・ **セルラーモデム接続。** 緊急のアクセス用に、Dominion KX III では、Sierra Wireless GX440、GX450、ES450 セルラーモデムを使用した、USB によるセルラーモデム接続をサポートしています。
- ・ **Windows 上で標準 KVM Client を AKC に変更。** .NET ベースの KVM Client 対応の環境であれば、Microsoft Windows のプラットフォーム上で、Java 非依存の Active KVM Client (AKC) をデフォルトで起動できます。**適切なプラグインを使用すれば、Microsoft Internet Explorer および Edge のブラウザ、そして Chrome でAKC を使用できるようになりました。**  
Java ベースの VKC KVM クライアントが望ましい場合、Chrome または Edge ブラウザで <IP Address>/vkc または <IP Address>/vkcs を使用してください。
- ・ **ストリーミングビデオ向け動画パフォーマンス機能を向上。** 新しい映像ライブラリにより、ビデオフレームレートでのプラットフォーム依存が増加しています。
- ・ **USB 音声設定の保存。** 特定のポートに接続する際、音声デバイス (スピーカー) に自動的に接続するように選択することができます。
- ・ **色調整のキャッシュ機能。** 今回の内部的な変更により、リモートサーバー間のより高速なスイッチングが可能になりました。キャッシュされた色の値をクリアすることもできるため、特定のポートに接続したサーバーを変更する際の利便性が増しました。
- ・ **電子メール (SMTP) イベント通知。** 管理者は、選択した KX III イベント通知を電子メールで受け取るように設定できます。

- ・ **Microsoft Windows 10 および Edge ブラウザに対応。**
- ・ **Chrome ブラウザ (Java Webstart) に対応。** Chrome ブラウザでは、ラリタンの Virtual KVM Client (VKC) のような Java アプレットを起動するためのプロトコルへのサポートが終了しました。今回のリリースでは、Java Webstart を使用して Chrome の最新リリース (45以降) を有効化し、VKC を起動できるようにしました (<IP Address>/vkcs の使用が必要)。
- ・ **Chrome で AKC に対応。** ラリタンの Active KVM Client (AKC) は Java を使用しないため、Windows プラットフォーム上で Chrome ブラウザから起動することができます。これには、Chrome ClickOnce プラグインが必要です。
- ・ **管理者向け Java 不要 Web ユーザーインターフェース。** 管理者は、Java や .Net を読み込まずに、管理用 (ターゲットサーバーのアクセスなし) に KX III ユーザーインターフェースを起動するように設定することもできます。この新機能を起動するには、<KX3 IP Address>/admin を使用します。
- ・ **セキュリティの強化。** SHA-2 証明書対応、新しいラリタンのコード署名証明書、OpenSSL ライブラリのアップデート、証明書生成のキーサイズを 4096 ビットに拡大、お気に入りのアプレットはログイン後のみ利用可能、セキュアでない RC4 暗号へのサポート停止。
- ・ **さまざまな修正、細かい部分の強化、ドキュメントのアップデート。**

## Dominion KX III ドキュメント:

Dominion KX III に関する次のユーザー向けドキュメントをご用意しております。

**Dominion KX III ユーザーガイド** – KX III のローカルおよびリモートブラウザベースのユーザーインターフェース、および一般的な使用に関するマニュアルです。

**Dominion KX III クイック セットアップ ガイド** – KX III の初期設定について説明します。

**KVM and Serial Client Access Guide (KVM および Serial Client Access ガイド)** – ラリタン製品のリモートクライアントに関する参照ドキュメント

**Dominion KX III CIM Guide (Dominion KX III CIM ガイド)** – Dominion KX コンピューターインターフェースモジュール (CIM) に関する参照ドキュメント (どの CIM を使用するべきか、など)

**Dominion KX III Blade Configuration Guide (Dominion KX III ブレード設定ガイド)** – Dell および IBM のブレードサーバー向けの詳細な指示事項とスクリーンショット。

Dominion KX III ドキュメントは、KX III の web ベースのユーザーインターフェースまたはラリタンの Web サイト ([www.raritan.com/jp](http://www.raritan.com/jp)) から入手いただけます。[Support] (サポート) セクションにアクセスし、[Firmware and Documentation] (ファームウェアとドキュメント) から [Dominion KX III] を選択します。ドキュメントはリリースごとになっておりますので、該当するリリースをクリックしてください。

## Dominion KX III オンラインヘルプ:

オンラインヘルプシステム をご利用いただけます。情報パネルの左にある [Help] (ヘルプ) > [Online Help] (オンラインヘルプ) をクリックすると、オンラインヘルプシステムが起動します。[Contents] (目次)、[Index] (索引)、[Search] (検索) の各タブから、適切なトピックを参照することができます。Dominion KX III ユーザーマニュアルは、テキストや画像を含む全体を参照いただけます。また、同マニュアルには多くのリンクも記載されています。

ラリタン製品のオンラインヘルプは、下記のラリタン Web サイトで参照いただけるようになりました。

<http://www.raritan.com/jp/support/help/>

## コンピューターインターフェースモジュール (CIM) の概要

Dominion KX III では、次の CIM をご利用いただけます。

**D2CIM-DVUSB** : デュアル USB、仮想メディアに必要な VGA ベースの仮想メディア CIM、ずれないマウス (absolute mouse synchronization) 機能、先進 KVM 機能。この CIM は、OS/BIOS レベルでの仮想メディアドライブ、ならびにスマートカードと音声機能へのアクセスに有用です。

**D2CIM-DVUSB-DVI、D2CIM-DVUSB-HDMI、D2CIM-DVUSB-DP** : DVI、HDMI、DisplayPort、デュアル USB CIM。

**D2CIM-VUSB** : シングル USB、仮想メディアに必要な仮想メディア CIM、ずれないマウス (absolute mouse synchronization) 機能。この CIM は、OS レベルのみで仮想メディアドライブにアクセスする際に有用です。

**KX I DCIM** : 仮想メディアとずれないマウス機能のない、古い DCIM-PS2、DCIM-USBG2、DCIM-SUN CIM。

**DCIM-USBG2** : DCIM-USBG2 は、KX III 用のベーシックな USB CIM に有用です。DCIM-USBG2 には小さなスイッチがあり、SUN サーバーと USB ポートを使用するには、このスイッチを「S」位置に設定する必要があります。

**D2CIM-PWR** : リモートのケーブルタップを KX III に接続する必要があります。

**一部の Paragon II CIM** : P2CIM-AUSB、P2CIM-PS2、P2CIM-USB、P2CIM-SUSB。

**Paragon Dual CIM** : P2CIM-APS2DUAL、P2CIM-AUSBDUAL

**P2CIM-SER** : シリアル機器に接続できます。

## 互換性情報 (リリース 3.2):

1. 上記 Dominion KX III モデルおよびリリース 3.2 は、CommandCenter® Secure Gateway (CC-SG) リリース 6.0、6.1 およびその上位機種との使用について、認証を受けています。
2. **CommandCenter 5.x のリリースは KX III より前に開発されたため、Dominion KX III をサポートしていません。**
3. KX III スイッチに接続されたコンピュータには、次の 2 つの KVM リモートクライアントによってリモートでアクセスすることができます。

KVM Client (VKC)	説明
Virtual KVM Client (VKC)	Java ベースのクライアントで、Web ブラウザから実行します。 <IP Address>/ <b>vk</b> c で起動可能 <b>Chrome と Edge では、&lt;IP Address&gt;/vkcs を使用</b>
Active KVM Client (AKC)	Microsoft .NET ベースの Windows クライアント Web ブラウザ: <IP Address>/ <b>ak</b> c で起動可能

4. **SUN Java™ Runtime Environment (JRE) version 7** は 1.7.0\_80 までサポートされています。  
**SUN Java™ Runtime Environment (JRE) version 8** は 1.8.0\_65 までサポートされています。  
これらは、リリース時点での現在の Java バージョンです。今後のバージョンの Java が正常に機能するには、Java 開発者が行う変更により互換性の問題が発生しないことが前提となります。何か問題がございましたらテクニカルサポートにお問い合わせください。対応策またはパッチリリース (利用可能な場合) をご提供します。
  - Java バージョン 6 は Dominion KX III ではサポートされていません。
  - Java プラグインキャッシュを**無効**にすることをお勧めします。
  - セキュリティを最大限にし、Java およびブラウザの警告メッセージを最小限に抑えるために、各 KX III スイッチに SSL 証明書をアップロードすることをお勧めします。
  - ラリタンの Java アプレットをロードするには、すべてのセキュリティ警告に同意のクリックをする必要があります。
5. **Internet Explorer バージョン 10/11 および Edge ブラウザはサポートされています。Firefox バージョンの場合は 33、38、40、41、Chrome バージョンの場合は 40、44、45。Safari 7.0.5 および 8.0.7 です。**
6. 本来の Windows クライアントである Active KVM Client (AKC) には、Internet Explorer 10 以降および Microsoft .NET Framework バージョン 4.0 または 4.5 が必要となります。
  - Windows Vista および Windows 7/8/10 デスクトップはサポートされます。
7. 上記 JRE バージョン情報は、Dominion KX III をスタンドアロンで使用する場合に適用されます。CC-SG と併せて使用する場合は、CC-SG のリリースノートおよび互換性マトリックス (Compatibility Matrix) を参照してください。

## 留意事項および重要な情報 (リリース 3.2):

1. **ビデオの帯域幅と画質。** 帯域幅を小さくするためにネットワーク帯域幅を最小化するには、[Connection Properties] (接続プロパティ) パネルで [Noise Filter] (ノイズフィルター) および [Video Mode] (ビデオモード) を [Least Bandwidth] (最少帯域幅) 側 (右方向) に設定する必要があります。画像およびビデオの画質をさらに良くするには、[Best Quality] (最高画質) 側 (左方向) に設定します。ビデオの速度および応答性をさらに高めるには、セキュリティ要件の許可範囲内で暗号を無効化します。  
[Connection Properties] (接続プロパティ) パネルで、コンピュータアプリケーション全体については [Text Readability] (テキストの読

み取り可能性) を使用し、ビデオ視聴や動的な画面の変更などのより高いパフォーマンスには [Color Accuracy] (色精度) を使用してください。

2. **デジタルローカルポート。** KX III のローカルポートは DVD-D ビデオを出力します。DVI-D モニターまたはラリタンの T1700-LED または T1900-LED ラックマウントキーボードトレイに接続します。アナログのビデオモニターの接続には、アダプターを使用する必要があります。

ローカルポートでは、KX III は通常、接続されているモニターまたはキーボードトレイの本来の画面解像度を使用します。画面解像度が小さすぎる場合、モニターから適切なレポートがされない場合があります。その場合、別のモニター、またはラリタンの T1700-LED または T1900-LED キーボードトレイを試してください。一部の低画面解像度は、本来の画面解像度に適切に調整されないことがあります。この場合、KX III では、やや小さな解像度に自動的に調整されるか、全画面にならないことがあります。この状態は正常です。

3. **KX III ローカルポートの拡張。** ラリタンの Cat5 Reach DVI 製品を使用して、データセンター外の KX III のローカルポートを拡張します。ラック前アクセスも可能です。

4. **カスケード接続ポート。** KX II のスイッチは KX III のベースユニットにカスケード接続できますが、KX III のスイッチは KX II のベースユニットにカスケード接続できません。

5. **Java に関する推奨事項。** ラリタンでは、KX III の各スイッチに SSL 証明書をアップロードすることを推奨しています。これにより、特定の Java メッセージが排除されます。

Windows ユーザーは、Java を使用しない .NET ベースの **Active KVM Client (AKC)** を使用することができます。この場合は、URL「<KX III IP Address>/akc」を使用します。

6. **Chrome での VKC ダイレクトポートアクセス。** このリリースの場合、VKC KVM Client でのダイレクトポートアクセスは Chrome では機能しません。Microsoft Windows プラットフォームをご使用の場合は、別のブラウザまたは AKC を使用してください。

**最良の画質のために、CIM と KX III 間の以下の距離に関する指示事項に従ってください。**

サーバーの画面解像度	距離
1024x768 (およびそれ以下)	150 フィート
1280x1024	100 フィート
1280x720	75 フィート
1600x1200, 1920x1080	50 フィート

## ファームウェアのアップグレード:

ラリタンでは、ソフトウェアの強化、新機能、改良などを含む、ファームウェアのアップグレードリリースをご提供しています。アップグレードは、ラリタンの Web サイト ([www.raritan.com](http://www.raritan.com)) で入手いただけます。[Support] (サポート) ページの [Choose a Product] (製品を選択してください) ボタンで [Dominion KX III] をクリックするか、直接下記にアクセスしてください。

<https://www.raritan.com/jp/support/product/dominion-kx-iii>

新しいファームウェアリリースがあるかどうか確認します。リリースノートもご用意していますので、ご確認ください。リリースノートには、(a) 新機能/強化点に関する概要説明、(b) 重要なオペレーション上の指示事項、(c) ファームウェアアップグレードに関する指示事項が記載されています。デバイスをアップグレードする際は、リリースノートの指示に従ってください。

## ファームウェアのアップグレードの前提条件:

何か問題がある場合、または下記の前提条件を満たさない場合は、アップグレードを中止し、ラリタンのテクニカルサポートにお問い合わせください。アップグレードを行う前に、指示事項すべて (本ドキュメント) をお読みください。

## アップグレードに関する一般的な指示事項 (ブラウザベースのユーザーインターフェースからのスタンドアロンアップグレード):

1. **注:** ファームウェアのアップグレードを適用する前に、KX III デバイスをリポートしてください。リポートにより、ユーザーがログインしていないこと、またはセッションがアクティブでないことを必ずご確認ください。
2. KX III デバイスをアップグレードするユーザーは、元から Admin (管理者) グループのメンバーで、Dominion KX III ユニートをアップデートする十分な管理者レベルの権限を持っている必要があります。
3. アップデートの完了には、20 分以上かかります。アップデートとその後のリポートにかかる時間は、KX III に接続されている CIM の数およびタイプによって異なります。
4. ファームウェアのアップグレードが完了するまでの時間が、システム上に表示されます。ネットワークの状況などにより、アップデートにさらに長い時間がかかる場合もあります。
5. アップグレードを開始する前に、リモートコンソールの [Maintenance] (保守) メニューの [Backup / Restore] (バックアップ/復元) 機能を使用して、KX III をバックアップすることをお勧めします。
6. Dominion KX III ユニートに接続されているすべてのデバイス (サーバー、ケーブルタップ、シリアル機器) について、リモートまたはローカルの KX III セッションを終了してください。
7. VPN 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合は、接続が安定しており、非アクティブ時のタイムアウトがオフになっていることを確認してください。
8. アップグレードの実行に関する詳しい説明は、下記を参照してください。
9. ソフトウェアのアップグレードはフラッシュメモリに書き込まれ、完了まで時間がかかります。アップグレードの進行中は、ユニットの電源をオフにしたり、Ethernet を切断したりしないでください。
10. KX III ファームウェアは、CC-SG によってアップグレードすることができます。そのほかの情報については、CC-SG ドキュメントを参照してください。
11. アップグレードがうまくいかない場合は、ラリタンのテクニカルサポートにお問い合わせください。

## 段階的なアップグレードに関する指示事項:

1. **注:** 最善の結果を得るため、ファームウェアのアップグレードを適用する前に、KX III デバイスをリポートしてください。リポートにより、ユーザーがログインしていないこと、またはセッションがアクティブでないことを必ずご確認ください。
2. Internet Explorer (またはそのほかのサポート対象 Web ブラウザ) では、ご使用の Dominion KX III ユニートの IP アドレスを入力

Dominion KX III Version 3.2 Release Notes 1

DominionKXIIIReleaseNotes3.2 · 255-62-4026-00-0S RoHS

し、Web ベースのインターフェースのロードが完了するまでお待ちください。

3. 管理者ユーザー [admin] (管理者) (または Admin グループのほかのメンバー) としてログインします。
4. [Maintenance] (保守) メニューで [Firmware Upgrade] (ファームウェアのアップグレード) コマンドをクリックします。
5. ブラウズしてアップデートを含む .rpf ファイルを探します。[Upload] (アップロード) ボタンをクリックします。現在および新しいバージョンが表示されます。[Upgrade] (アップグレード) ボタンをクリックしてアップグレードを開始してください。
6. ファームウェアのアップグレードが実行されます。
  - a. アップグレード中は、KX III を実行することはできません。
  - b. アップグレードパネルに、アップグレードの進行状況が表示されます。このアップグレード手順には、15 分程度かかります。

**アップグレード中またはリポート中は、KX III のリポートまたは電源の入れ直しは絶対にしないでください！**
  - c. アップグレードが完了すると、完了メッセージが表示されます。
7. デバイスをリポートおよびリセットします。これには、5 分程度かかることがあります。
8. リポートが完了したら、Web ブラウザのセッションを終了し、再度ログインしてください。
9. KX III では、アップグレードが完了するとブザー音が鳴り、ログイン画面がローカルコンソールポートに表示されます。
10. Web ブラウザまたはローカルポートから、再度ログインしてください。[Maintenance] (保守) メニューの [Upgrade History] (アップグレード履歴) レポートを使用して、アップグレード状況を確認します。
11. アップグレード時に KX III に接続されている KX III の CIM (D2CIM-VUSB、D2CIM-DVUSB、D2CIM-DVUSB-XXX、D2CIM-PWR) もすべて、アップグレードされます。
12. KX III ファームウェアに KX II デバイス (リリース 2.x) をアップロードすることはできません。
13. 特定のカスケード接続の設定では、ベーススイッチでファームウェアのアップグレードを行っているときに、デバイスのリポートを促すメッセージが表示されることがあります。警告メッセージが再び表示されたら、デバイスのカスケード接続を無効にし、ファームウェアをアップグレードしてから、再度カスケード接続を行います。
14. アップデート時にご質問事項または問題が生じた場合は、ラリタンのテクニカルサポートにお問い合わせください。

本ドキュメントはラリタンのお客様のみを対象にしています。いかなる目的であれ、Raritan, Inc. から書面による承諾を得ることなく、本ドキュメントの全体または一部をこのほかの目的で使用することは禁じられています。

Copyright ©2015 Raritan, Inc. CommandCenter、Dominion、ラリタン社のロゴは、Raritan, Inc. の商標または登録商標です。無断で転載することは禁じられています。Solaris および Java は、Oracle, Inc. の商標、Windows、Windows Vista、.Net は Microsoft

Corporation の商標または登録商標です。Apple、Mac、Safari、iPad、iPhone は Apple Inc. の商標または登録商標です。そのほかのすべての商標は、各所有者の所有物です。